令和５年１月１２日

開進三中だより

＜ 第9号 ＞

◆たくましい人◆考える人◆心豊かな人◆助け合う人　練馬区立開進第三中学校

「より良い学校づくりを目指して」

校 長　　堀　健一

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。
さて、令和４年度学校評価アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございました。
１年生87名、２年生84名、３年生63名、計234名（64.1%）の保護者の方から回答をいただきました。

質問	調　査　項　目	とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
1	お子さんは、朝読書を通して読書の楽しさを知る機会となっている。	28%	49%	16%	2%	5%
2	落ち着いた雰囲気の中で授業が行われている。	21%	66%	3%	1%	9%
3	英語・数学の少人数制授業は、学力の定着を図る上で効果的である。	31%	56%	7%	1%	5%
4	各教科の評価・評定のつけ方を理解している。	12%	59%	24%	3%	2%
5	お子さんは、自主的に挨拶し、きちんとした言葉遣いで話している。	22%	62%	11%	1%	4%
6	お子さんは、時間や身なり服装などの基本的な生活習慣が身に付いている。	25%	62%	12%	1%	0%
7	お子さんは、部活動に意欲的に取り組んでいる。	50%	39%	6%	4%	1%
8	本校の部活動の活動時間(最終下校 18:00)は適切である。	30%	59%	6%	4%	1%
9	お子さんは、相手の立場に立って考えたり行動することができている。	29%	60%	8%	2%	2%
10	1学年では職業調べ、2学年では職場訪問や職場体験、3学年では上級学校訪問を実施し、進路学習・生き方指導を計画的に行っている。	21%	59%	12%	2%	6%
11	体育祭や合唱祭は、生徒が自主的に運営し活力ある有意義な活動になっている。（合唱祭は3月です。分かる範囲でお答えください。）	34%	59%	3%	0%	3%
12	本校の生徒会活動（専門委員会・募金活動等）は活発に運営されている。	13%	61%	9%	0%	16%
13	三者面談、生徒と教員の二者面談は、教育相談機能を果たしている。	14%	62%	15%	3%	7%
14	校内の清掃が行き届き感染症対策を含めた環境美化が整っている。	26%	66%	3%	1%	5%
15	学校公開、授業参観、保護者会は、開かれた学校づくりを行うことにつながり、学校と保護者・地域が理解を深める機会になっている。	18%	64%	12%	2%	5%
16	校外の諸活動（あいさつスマイルクリーン運動等の行事を含む）においてPTAやおやじの会、地域関係者、関係機関と協力した取組を進めている。	15%	64%	8%	1%	12%
17	地域との合同防災訓練は災害に対する意識を高め、災害時の行動を学ぶために効果的な取組である。	16%	69%	6%	2%	8%
18	給食は生徒にとって栄養バランスがよく、安全とおいしさを兼ね備えている。	34%	56%	4%	3%	3%
19	学校の様子は、たよりやホームページなどでよく知らせている。	30%	57%	10%	1%	2%

〔保護者評価について〕
全体としては、昨年度と比べ肯定的な評価が多くなっています。「とても思う＋思う」が80%以上の項目が12項目（昨年度は3項目）です。また、反対に「あまり思わない＋思わない」が15%以上の項目が3項目（①④⑬）（昨年度は4項目）という結果です。
(1)問1「朝読書」について。今後も読書の楽しさや読書習慣を身に付けさせるとともに「読む・書く」指導を充実させ，自己表現力を育成していきます。(77%←昨年68%)
(2)問4「評価・評定」について。学習指導要領に基づき、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で実施されています。1学期の教科評定説明会へできるだけ多く参加していただくとともに、三者面談等の機会に評価の内容、各教科の評価・評定の仕組みを丁寧に説明します。(71%←昨年69%)
(3)問5・6「基本的生活習慣の確立」について。生徒が生き生きと学ぶための基本的生活習慣の確立を図るとともに確かな学力の向上を目指し、小中連携（開二小・開三小）を推進していきます。また、家庭・地域と連携し生徒が自己実現を図る上で必要な自己管理能力の育成を目指します。(87%←昨年84%)
(4)問7・8「部活動」について。生徒の意欲的な取組が表れており(89%←昨年81%)、基本方針は継続していきます。活動時間（最終下校）については今一度、共通理解を図っていきます。(89%←昨年87%)
(5)問10「キャリア教育」について。(89%←昨年62%)。昨年春、夏のコロナ禍に比べて、今年度は実施内容が充実しました。学年別に見ると、1年87%、2年81%、3年68%でした（3年生上級学校訪問は抽選に外れてしまうケースがある）。
(6)問13「面談の相談機能」について。(76%←昨年76%)。限られた時間内での相談が難しいことがあると思います。心配なことがあれば三者・二者面談期間に関わらずいつでもご相談ください。スクールカウンセラー、心のふれあい相談員、特別支援教室専門員、生活支援員及び主任児童委員等との連携を図り、一人一人の生徒の支援を行っています。また、生活アンケートを定期的に実施し、課題への迅速な対応を図っていきます。
(7)学習指導について。
・学習のねらい・見通しをもって、主体的に取り組む力が身に付く授業を実践していきます。
・自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業を実践していきます。
・周囲と共に考え学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業を実践していきます。
・英語・数学少人数指導を効果的に実施し、基礎・基本を定着させ学力の向上を図ります。
・外部人材を活用した地域未来塾（放課後学習教室）で、生徒の基礎的な学力の定着を図ります。
※「生徒評価」は裏面に掲載します。